

「いつでもどこでも仕事ができることは？」

先日、学会出席のため八戸へ出張しました。寒地土木研究所では、北東北まではJR利用が原則です。もちろん正当な理由があれば航空機を使うことは可能なのですが、特に出発直前に会議などは予定されていないし、研究予算も厳しいことから、正規にJR利用としました。片道8時間弱かけてのJRでの移動でしたが、ノートPCを持って行ったのでJRの中でも仕事が可能です。これで、モバイルルータや、テザリング機能のあるスマートフォンがあれば、メールも移動中に確認できるのですから、本当に便利な世の中になったものです。

ちょうど、発表用のパワーポイントが仕上がっていなかったので作業に取りかかりました。しかし、札幌～函館間のJRの車中は混雑していたうえ、かなり揺れるため、あまり作業が進みませんでした。結局、ホテルに入ってから、発表用のパワーポイントを仕上げました。

昔だと、出張先では作業ができないことが前提なので、出張前に全てを片付けることが必須だったのですが、現在ですと、出張中にも作業ができることを見込んで、後送りにしてしまっています。あまりほめられたことではありませんね。もっと余裕を持って仕事に取り組みたいところです。

(雪氷チーム 上席研究員 松澤 勝)

\* \* \* \*

表紙左上記号 ISSN 1881-0497の説明

国際的なコード番号であるISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号)は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館ISSN日本センターから付与されたものです。